国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

国立循環器病研究センター 創立 50 周年

募金趣意書



ご寄付・ご支援のお願い

2027年に国立循環器病研究センターは創立50周年を迎えます。国立がん研究センターにつづく国内２番目、そして西日本で唯一のナショナルセンターとして1977年に大阪府吹田市藤白台に開設されて以降、これまで世界最高峰の循環器病医療の提供と我が国の循環器病の制圧を目指し、みなさまとともに歩んでまいりました。

2019年、ここ北大阪健康医療都市、吹田市岸部に移転し、さらなる発展を期してたゆまぬ努力を続けております。

創立50周年を迎えるに当たり、未来に向かって持続可能で強靭な体制を構築し、信頼を得、安心を届けるセンターに発展していきます。

循環器病の克服には市民の理解と協力が必要です。創立50周年事業では市民向け講座など啓発活動を展開していきます。

しかしながら、当センターも他の医療機関・研究機関と同様に、経営環境は厳しい状況です。移転に伴う借入金の返済に加え、数多くの設備や機器の更新が必要です。また、最先端の医療を提供し、循環器病研究の推進を続けるための戦略的投資も行っていかなければなりません。

次の50年も、ここ大阪の地で循環器病研究・医療の中核として貢献しつづけるとともに、当センターでの研究・医療に携わった優秀な人材が全国に羽ばたき我が国の循環器病の制圧に重要な役割を担っていけるよう、みなさまのご支援を切にお願いいたします。

いただきましたご篤志は、最先端の医療提供にふさわしい機器整備に活用させていただくとともに、有為な研究支援・人材育成のため、創立50周年記念事業の基金の造成を行い、そのご貢献を永く銘記させていただきたいと考えております。

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

理事長 大津 欣也

募集要項

■名　称　国立循環器病研究センター創立 50 周年募金
■募金目標額　50 億円
■目　的　最先端の医療提供にふさわしい機器整備
来年度から更新時期に入る総額 98 億円の医療機器を効率化等により総額 70 億円に抑制
自前の財源ねん出　40 億円
募金ご篤志　30 億円
研究支援・人材育成等　募金ご篤志　20 億円

※有為な研究活動等については当センターでの共同研究の実施も視野に入れ、必要な支援を行ってまいります。
※市民向け講座などの開催は原則として当センター財源で行うことを考えておりますが、一部基金を活用も考えております。

国立循環器病研究センターのトピック

先駆的・先進的な医療の提供

心臓血管内科部門/心不全・移植部門

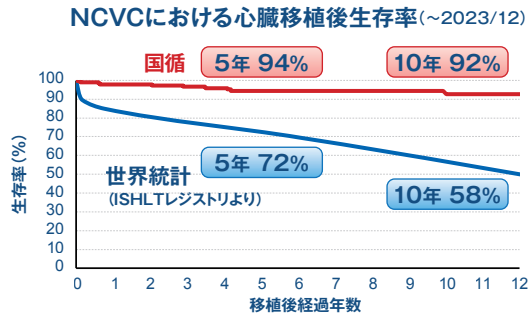
冠疾患科、血管科、不整脈科、肺循環科、成人先天性心疾患科、心不全部、移植医療部を設け、約100名の医師が診療に従事しています。心血管系集中治療室（CCU）では、循環器専門病院としては全国初となる交代制勤務により24時間365日対応でカテーテル治療・機械的循環補助を含めた質の高い心臓血管系集中治療・チーム治療の提供を行っています。

心臓血管外科部門

心臓外科、血管外科ともに補助人工心臓植込や心臓移植、胸腹部大動脈置換など高難度の手術から、ロボット手術やカテーテル治療などの低侵襲手術まで行っており、全ての術式について世界のトップレベルの質と全国有数の手術件数を維持する総合力を有しています。

日本の心臓移植医療をリード

全国の約４分の１に当たる多くの心臓移植を実施しています。2025年は19例実施しました。また、当院の心臓移植後生存率は世界的にみて極めて良好です。



脳血管部門

脳血管内科・脳神経内科・脳神経外科が連携し、急性期脳卒中の診療を24時間365日体制で行っています。

当院は、1978年に脳卒中ケアユニット（SCU）を国内ではじめて立ち上げ、24時間365日体制で急性期脳卒中患者さんを受け入れて、集約的な急性期治療を提供しています。また、認知症、嚥下障害、てんかんなどの脳卒中後遺症に関する研究において数多くの業績を出し、診療においても、最新の知識と技術を駆使し、最善の医療を提供しています。脳神経外科では、脳血管障害に対する外科手術、血管内治療、定位放射線治療（ガンマナイフ）を中心に多様な治療手段を組み合わせ、患者さん一人ひとりに適した医療を提供しています。

世界的にもユニークな小児循環器・産婦人科部門

先天性心疾患や川崎病に代表される小児期発症の心臓病の患者さんを、胎児期および小児期から成人期にいたるまで生涯にわたって診療し、さらには心疾患や脳血管疾患を患う女性の妊娠と出産を専門的に扱っています。世界的にもたいへんユニークな診療部門であり、世界トップレベルの診療を提供しています。



この子たちを救いたい！

先天性心疾患は乳児死亡の最大原因です。
当院では胎児期からのシームレスな治療を行っています。

高度な医療に関する研修の実施（レジデント・専門修練医の受入れ）

全国各地からレジデントや専門修練医が集まり、全国的な循環器医師のネットワークを構築しています。



昭和53年～令和7年度	
循環器病専門修練医	639 名
レジデント	1692 名
合計	2331 名

2025年には、当センターが開発した新技術・画期的な医療機器が保険適用となりました。

2025年11月

当センターがニプロ株式会社と共同開発した新しいECMOシステム「バイオセーバー」が医療保険の適用（保険収載）になりました。

重症循環不全・呼吸不全を発症した患者さんに対して、救命のために一時的に血液循環・呼吸の機能をサポートするECMO治療に使用します。超小型、最長14日間の連続使用が可能な画期的なものです。





商品名：バイオセーバーコンソール
製造販売元：ニプロ株式会社
クラス分類：クラスⅢ（高度管理医療機器）
医療機器承認番号：30700BZX00215000
特定保守管理医療機器

商品名：バイオセーバーEOMO回路セットHD
製造販売元：ニプロ株式会社
クラス分類：クラスⅣ　（高度管理医療機器）
医療機器承認番号：30700BZX00214000
特定保守管理医療機器

2025年6月

当センターが株式会社クロスメディカルと共同開発した3Dプリンティング技術を応用した「軟質実物大3D心臓モデル」が医療保険の提供（保険収載）になりました。

心臓CT検査の画像を用いた実物大3Dモデルにより、切開・縫合による手術シミュレーションが可能になります。難易度の高い先天性心疾患の子どもたちの外科手術に大きく貢献します。

医療機器として保険適用に至った3D心臓モデルは世界で初めてです。



小児先天性心疾患の
軟質実物大3D心臓モデル

循環器疾患克服に向けた国立循環器病研究センターの 50 年の歩み

国循は 1977 年の開設以来、半世紀にわたり循環器疾患の治療・予防・研究に取り組んできました。
常に新しい技術を取り入れ、循環器疾患克服へ向けて努力を続けます。

1977 年	国立循環器病センター開設 （常陸宮同妃両殿下臨席の下で開設式典挙行） 診療業務、研究所業務開始
1978 年	レジデント制度開始
1986 年	WHO 研究研修協力センター開所
1993 年	特定機能病院承認
1996 年	循環器病診療総合支援全国ネットワークシステム（循ネット）設置
1997 年	心臓移植対策室設置
2002 年	ガンマナイフ棟竣工
2010 年	独立行政法人に移行
2011 年	ハイブリッド手術室システム導入
2012 年	ドクターカー導入
2015 年	国立研究開発法人に移行
2018 年	植込型人工心臓のアジア初、世界 9 番目の中核施設に認定
2019 年	オープンイノベーションセンター（OIC）発足 現在地（吹田市岸部新町）に移転開業
2021 年	循環器病対策情報センター設置
2023 年	横断的診療部門（弁膜症センター、成人先天性心疾患センター、不整脈センター、先進心不全センター、メディカルゲノムセンター、循環器周産期センター）設置

国立循環器病研究センターの概要

北大阪健康医療都市（健都）に 2019 年に吹田市藤白台から移転。
病院・研究所・オープンイノベーションセンター（OIC）で構成され、これら 3 部門を一体として運営しています。



【病院】
- 病床数　550 床、外来　700 ～ 800 人／日
- 救急応需率　96 %（断らない救急）
- 臨床研究　799 件（2024 年度）

【研究所】
主な研究分野
- ペプチド・たんぱく質医科学
- ゲノム医科学
- 再生医科学、人工臓器開発
- ナノメディスン
- 生理機能と画像診断　など

【オープンイノベーションセンター（OIC）】
主な研究推進分野
- 臨床研究や治験と疫学調査の推進
- 知的資産活用
- 情報基盤整備と研究企画策定
- これらを支えるトランスレーショナル研究基盤性　など

※詳しくは、ホームページをご覧ください
https://www.ncvc.go.jp/

ご寄付についてのお問い合わせ、お申し込み方法

国立循環器病研究センター

06-6170-1070（代表）

電話交換手を呼びだし「募金趣意書担当」とお申し付けください。

（※電話番号のおかけ間違いにはご注意ください）

※ホームページ［寄付のお願い］もご覧ください
https://www.ncvc.go.jp/beitrag/ukeire/

国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号
TEL：06-6170-1070（代表）

○税制上の優遇措置について

当センターへのご寄付は、税制上の優遇措置が受けられます。

（個人の場合）

所得税法および地方税法の規定により、「寄付金控除」の取扱いができます。

所得税の軽減	（寄付金額－2,000 円）を除いた額を所得から控除 ※ 当該年分の総所得金額等の 40％が上限
住民税の軽減 （大阪府・吹田市など※1）	（寄付金額－2,000 円）× 控除税率を税額から控除 ※ 当該年分の総所得金額等の 30％を限度 ※ 控除税率は、都道府県、市区町村合わせて最大 10％

※1 上記以外の住所地であっても、地方公共団体によっては寄附控除を受けることができます。
詳しくはお住まいの市町村へご確認ください。

（法人の場合）

法人税法の規定により、寄付金の全額を、一般の寄附金の損金算入限度額と別枠で、損金算入することができます。

○紺綬褒章について

当センターは内閣府賞勲局より、紺綬褒章の「公益団体」に認定されており、当センターへの 500 万円以上のご寄付を行われた個人の方、1,000 万円以上の寄付を行われた法人の方は、紺綬褒章の授与対象となります。紺綬褒章の授与をご希望の場合は、当センターが授与申請を行います。

○ご貢献の銘記等について

ご寄付については、基金を造成し、その使途を明らかにいたします。また、当センター内にご篤志いただいた方々のお名前を銘板に掲げるなど、以下のことを予定しております。

- □ 100 万円以上のご寄付をいただいた個人・法人・団体の方について、ご希望の場合は、ご芳名を銘板に記載し、永く顕彰いたします。個人・法人の場合は、法人名と個人名と併せてのご掲載となります。（また、基金造成にご寄付いただいた全ての方を対象に、ご希望の場合は、当センターのホームページにおいて感謝の意とともに、芳名録を作成し、公表いたします。）
- □ 個人で 500 万円以上、法人・団体で 1,000 万円以上のご寄付をいただいた方について、感謝状の贈呈を行います。

○寄付金のお振込みについて

現在お振込みによるご寄付をお願いしております。お振込み先は以下のとおりとなります。

◆お振込み先

金融機関名	三菱 UFJ 銀行　銀行コード 0005　　大阪公務部　支店コード 100
口座番号	普通　0003596
口座名 （フリガナ）	国立研究開発法人　国立循環器病研究センター コクリツケンキユウカイハツホウジン　コクリツジユンカンキビヨウケンキユウセンター

（お振込みに関する注意事項）

- **お振込み確認後、寄付金領収書を発行・郵送いたしますので、お振込みから 3 日以内を目安に寄付金領収書の発行に必要な情報を右記の二次元コード（Microsoft Forms）よりご登録ください。**また二次元コード（Microsoft Forms）から登録が難しい場合、裏面のご寄付についてのお問い合わせ先までご連絡ください。
- 寄付金領収証の発行には、概ね 3 か月程度お時間をいただきます。
- お振込みから 3 か月経過しても領収証が届かない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。
- お振込み後に、寄付者が国立研究開発法人国立循環器病研究センター寄付受入規程第 3 条に該当することが判明した場合は、ご寄付を返還いたします。

病院ホームページ

国立研究開発法人
国立循環器病研究センター
〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6 番 1 号
TEL：06-6170-1070（代表）

創立 50 周年募金　寄付金の受入について

寄付金の受入に関する留意事項は、次のとおりです。

国立研究開発法人国立循環器病研究センター寄付受入規程

（寄付受入れの条件）

第３条　センターは、寄付をしようとする者が次の各号に掲げる条件を付したときは、寄付を受け入れることができない。

一　寄付により取得した財産を無償で寄付者に譲与または貸与すること。

二　寄付による研究の結果得られた知的財産等を寄付者に譲渡し、または使用させること。

三　寄付金品の使用について、寄付者がその会計を検査すること。

四　前各号に掲げるもののほか、寄付をしようとする者がセンターに対してその他の反対給付を求めること。

五　寄付の申込み後に、寄付者の意思により、寄付金等の全部または一部を取り消すことができるもの。

２　前項に掲げるもののほか、次の各号に掲げるものは受け入れてはならない。

一　寄付金品の受入れに伴い、センターの経費支出が著しく増大するおそれのあるもの

二　寄付をしようとする者の社会的な立場や信用に問題のあるもの

三　その他理事長が適当でないと認めるもの

ご寄付についてのお問い合わせ

国立循環器病研究センター

代表番号：**06-6170-1070**

担当：50周年募金趣意書担当

上記担当宛にご連絡ください。（※電話番号のおかけ間違いにはご注意ください）

メールアドレス：50bokin@ncvc.go.jp